

2020年 5月 10日(日)

母の日

おおきな木

アメリカの絵本作家、シェル・シルヴァシュタインのロングセラー作品『おおきな木』は、次のような話です。

大きなリンゴの木と少年は仲の良い友だちでした。木は、少年のために何でも与えます。やがて大人になった少年は、お金に替えるためにリンゴの実を全て摘み取つていきました。その後も家を建てるからと木の枝を切り、舟をつくるからと幹を切り倒します。それでも木は幸せでした。

やがて遠くへ旅立った少年は、年老いて木のそばに戻ります。少年は疲れ果てて切り株に腰掛けます。木は幸せでした。

この話を、あなたはどう受け止めますか。

「与えてばかりの木は不幸だ」と考るるでしょうか。「たくさん与えてもらつたのに、少年は何も返していない」と思うでしょうか。

もちろん正解は人それぞれですが、はつきり書いてあるのは、「木は幸せだった」ということです。木は与えることで喜びを受け取つていました。

大きな木の愛情は、大自然の恵みのようでもあり、母親の愛のようでもあります。惜しみなく愛情を注いでくれる人に、あらためて感謝しましよう。

コメント

今日の気づき

シェル・シルヴァシュタイン（1932～1999年）アメリカ・シカゴ生まれ。絵本作家・イラストレーター・シンガーソングライター。放浪生活をしながら、多彩な創作活動をした。『ぼくを探しに』『ビッグ・オーとの出会い』など日本語訳された絵本も多数。

八十八夜

一方で「八十八夜のわかれ霜」ともいわれ、急に霜が降りることもあり、注意を促すため暦に記された日でもありました。

働く人にとっても、今時期は明るい希望を感じられる一方、不安定になりやすい季節ではないでしょうか。大型連休に入ることで生活のリズムが崩れ、いわゆる「五月病」になる人が増えてくることもあります。

この時期は、心身の健康を維持することを心掛けたいものです。ストレスがたまっている人は、運動や趣味で解消したり、誰かに悩みを聞いてもらったりしましよう。また、周囲が気づいてケアすることも大切です。互いの健康を願い、爽やかな初夏の季節を満喫してはいかがでしょうか。

コメント

今日の気づき

春から夏へ

本日は、旧暦の「八十八夜」に当たり、立春の日から数えて88日目の日になります。

春から夏に変わる節目の日もあり、このころから農家では稻の種まきを始めたり、茶摘みをしたりなど、忙しい時期に入ります。また、漁業においても目安となる日で、この日から漁が始まる地方もあるそうです。

活気のある季節の始まりを告げる、縁起のいい日といえます。

一方で「八十八夜のわかれ霜」ともいわれ、急に霜が降りることもあり、注意を促すため暦に記された日でもありました。

コメント

2020年 5月 1日(金)

和算

数学と聞くと、西洋から入ってきたものというイメージがありますが、日本にも、古くから独自の数学、「和算」があったのを存じでしょうか。

もともと数学は奈良時代に中国から伝えられ、江戸時代に発達しました。

和算の研究に貢献したのが、和算家の関孝和です。彼は独学で和算を究め、2変数文字方程式を解くための行列式、円弧の長さや円の面積、球の体積を求める理論を樹立しています。

和算は、武士だけでなく、庶民にも広まりました。布や米の計量、土地の面積、利子の計算など、日常で使う計算を扱った和算の入門書『塵劫記』は、大変な人気がありました。

また、難しい問題を書いた「算額」を神社に奉納するという習慣も生まれました。全国の神社には、江戸時代の算額が約800も残っているそうです。数学の問題を神さまに捧げるというのは、日本人ならではの発想といえます。

現代でも、奈良県の東大寺では「大仏が肩まで風呂に漬かるには何リットルのお湯が入る湯船が必要か」など、ユニークな算額が掲げられ、観光客に人気です。自信のある人は、挑戦してみてはいかがでしょうか。

今日の言葉 身近な数学に親しみましょう

2020年5月17日(日)

アニマルセラピー

落ち込んだとき、犬や猫などのペットと触れ合うことで、心が癒やされたことのある人は少なくないはずです。

動物との触れ合いで、ストレスを緩和したり、生活の質を向上させたりする試みは、全世界で行われており、日本では「アニマルセラピー」と呼ばれています。病院や介護施設、刑務所などで動物との触れ合いの場をつくることで、人々に良い影響を与える効果が報告されています。

イギリス・ロンドンでは、「ミスター・ロンドン・ミヤオ」と呼ばれる黒猫が病院を巡回しており、患者たちに親しまれているそうです。ミヤオは特別な認可を受けたセラピーキャットであり、誰に対しても決して攻撃的な態度をとることはありません。彼を撫でたり膝に乗せたりすることで、患者は孤独や緊張を和らげることができます。

強いストレスを受けたときは、人とのコミュニケーションが一時的につらくなることがあります。そんなときに、動物たちの存在が心の救いになってくれるはずです。ペットを飼っていない人も、時には動物園や水族館に行つてみましょう。愛らしい姿に元気をもらえるのではないでしょう。

今日の言葉 動物と触れ合う機会を持ちましょう

2020年5月31日(日)

落ち込んだとき、犬や猫などのペットと触れ合うことで、心が癒やされたことのある人は少なくないはずです。

動物との触れ合いで、ストレスを緩和したり、生活の質を向上させたりする試みは、全世界で行われており、日本では「アニマルセラピー」と呼ばれています。病院や介護施設、刑務所などで動物との触れ合いの場をつくることで、人々に良い影響を与える効果が報告されています。

イギリス・ロンドンでは、「ミスター・ロンドン・ミヤオ」と呼ばれる黒猫が病院を巡回しており、患者たちに親しまれているそうです。ミヤオは特別な認可を受けたセラピーキャットであり、誰に対しても決して攻撃的な態度をとることはありません。彼を撫でたり膝に乗せたりすることで、患者は孤独や緊張を和らげることができます。

強いストレスを受けたときは、人とのコミュニケーションが一時的につらくなることがあります。そんなときに、動物たちの存在が心の救いになってくれるはずです。ペットを飼っていない人も、時には動物園や水族館に行つてみましょう。愛らしい姿に元気をもらえるのではないでしょう。

関孝和 寛永17ころ～宝永5年(1640ころ～1708年)江戸中期の数学者。中国の数学に依存していた日本の数学を日本固有のものに高めた。筆算で精緻な円周率を算出。筆算式の代数学の確立や方程式・行列式の創始など、日本における数学研究を高めた。和算は関孝和から始まるとされる。著書に『発微算法』など。

今日の気づき

今日の気づき

コメント

コメント